



- ☆☆育てたい「いまじゅくの子」☆☆
- い ○いきいきとした心と体をつくる子(体)
 - ま ○学びをいかそうとする子(知)
 - じ ○自分とみんなを大切にする子(徳)
 - ゆ ○ゆめをもち人の役に立とうとする子(公)
 - く ○くらしをよりよくしようとし世界に目を向ける子(開)



情報モラル教育

校長 島田恒弘

昨年度の学校評価アンケートで、子どもが SNS などに触れている時間が増えていることが分かりました。

また、市内区内で、SNS トラブルが起きていることから、今年度から 4 年生以上で情報モラル教育を実施することにしました。

今年度は一般財団法人LINEみらい財団のオンライン講座を活用して、「同じ言葉、同じ絵文字でも、人によって感じ方は違う」「自分の思いを伝えるのは難しい」「よく考えてから発信しないと思わぬことが起きる」ということについて考えました。

😊 「『まじめだね』という言葉が送られてきたけれど、あなたはどう感じますか？」

😊 うれしい 😞 馬鹿にされている 😐 別に何も感じない

😊 「あなたがされて嫌なことは、どれですか？」

😊 自分の写真をアップされる 😞 自分の部屋の写真をアップされる 😞 変な顔をアップされる

講師から問いかけられると自分の考えを表現し、友達と考えを交流しながら、SNS の危険性について考えを深めました。

スマートフォンを与えるのはご家庭ですが、学校でもタブレットを持ち帰らせる機会が増えていきます。まだまだ未熟な子どもがトラブルなしに使いこなすのは難しいです。情報モラル教育で「人権を守る」ということについて学習しましたので、ご家庭におかれましても、機会をとらえて、お子さんとスマートフォンの使い方や SNS の活用について話し合っただけであればと思います。

特にスマートフォンについては親のお金で買い与えるものなので責任をもって時々確認していただきたいと思います。時には厳しい指導も必要になるかもしれません。警察などとの機関連携が必要なことも出てくるかもしれません。

学校と家庭とが連携し、子どもたちを守っていきたいと思います。子どもを加害者にも被害者にもしないために、ご理解とご協力をお願いします。

国際平和スピーチコンテスト



6 月 27 日の朝会で、6 年生の代表児童がスピーチをしました。スピーチなので、聞いている人に伝えるための工夫が必要ですが、学年選考会の時より構成や表現がよくなっていて驚きました。主張は「海を守ろう」です。自分の体験から疑問に思ったことや学習をしていくうちに海が汚れてしまっていることを知り、自分たちに何ができるのかと、考えたことを伝えていました。

代表スピーチをしたのは一人ですが、毎年すべての 6 年生が SDGs を学習しています。世界に目を向け、世の中の役に立つ人になってほしいと願っています。学校での学びは、テストのために行っているわけではありません。世の中で起きていることの問題を見だし、解決する方法を考える力を付け、協働的に取り組むということこそが学校で学ぶ意義なのだと考えています。

ご家庭でも機会をとらえて、時事問題などについても、お子さんと話し合ってみてください。